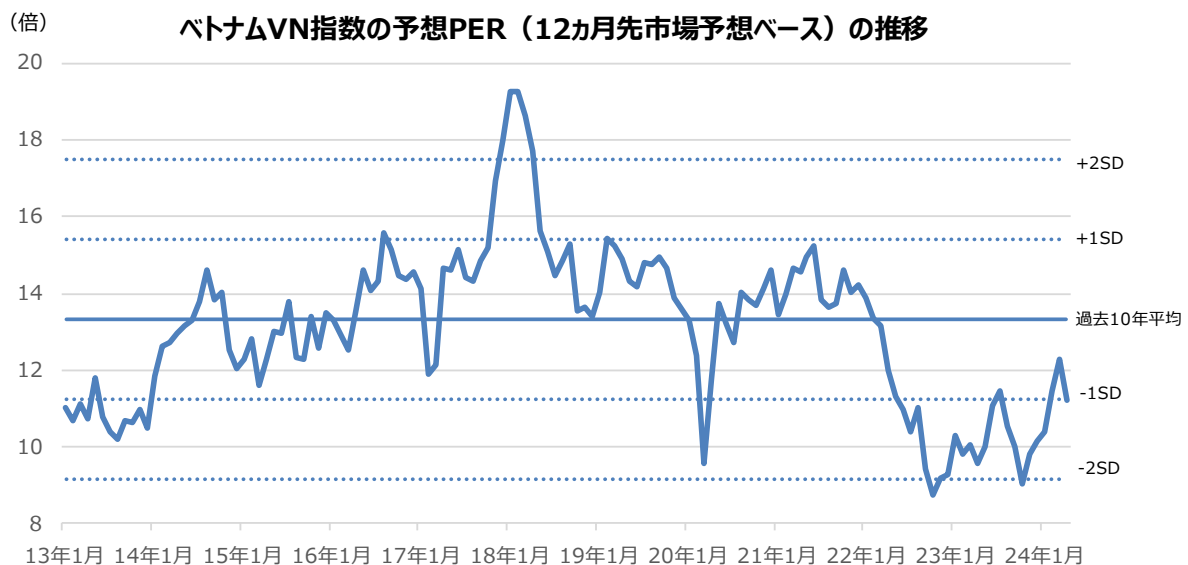


## 4月15日のベトナム株式市場の急落について

4月15日（月）のベトナムVN指数は、前営業日比4.7%安の1,216.61と、大幅に下落しました。大きな国内要因は見当たりませんが、イランのイスラエルへの報復攻撃など中東情勢の緊迫化や米連邦準備理事会（FRB）の利下げ開始が遅れるとの見方などから米ドルが上昇し、通貨ベトナムドンが下落を続けた中、外国人投資家が売りを強めたことで国内の投資家心理も急激に冷え込んだことが要因と考えられます。先週末のベトナムVN指数が直近ボトムの昨年10月末から24.2%高、年初来で13.0%高と堅調だったこともあり、短期的な利益確定を急ぐ動きもあったとみられます。一方、為替市場では、米ドル高・円安も進行したことで、ベトナムドンは円に対して横ばい圏での推移となっています。

ベトナムのファンダメンタルズを見ますと、2024年1-3月期のベトナムの実質国内総生産（GDP）は前年同期比5.66%増と、昨年10-12月期の同6.72%増から減速しましたが、輸出の回復にも支えられ、底堅さを示しています。1-3月期の輸出は電子製品・同部品やスマートフォンなどの増加により前年同期比17.0%増の930.6億米ドルに達しました。また、同期の外国直接投資実行額は同7.1%増の46.3億米ドルと堅調な拡大を続けています。昨年7-9月期まで前年同期比でマイナス成長だった不動産業もその後プラス成長に転じ、1-3月期には同1.7%増と緩やかながら持ち直しており、最悪期を脱したとみられます。

今後もベトナム国家銀行（中央銀行）が経済成長を優先する姿勢を示していることに加え、同国政府は付加価値税の減税措置の延長や公共投資の推進など景気対策を継続するとみられ、金融・財政両面からのサポートも期待されます。中東情勢など地政学的リスクを含め、世界経済の先行きはなお見通しづらく、株式市場も変動性の高い展開を続けると想定されますが、予想PER（株価収益率）は4月15日時点で11.2倍（12ヵ月先市場予想ベース）と、過去10年平均の13.3倍を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。



※SD：標準偏差

（出所）ブルームバーグのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成

以上

## &lt;投資信託に関するご注意&gt;

## ■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## ■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.881%（税抜き 1.71%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## &lt;当資料に関するご注意&gt;

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会